

1 編成方針

平成17年度予算の編成にあたっては、次の3点を基本方針として掲げ、
第一に、歳入総額の減少に対応できる歳出構造への転換を図る。
第二に、費用対効果の観点から無駄を排し、省力化・効率化に徹し、最小の経費で最大のサービスをめざす。
第三に、本町が掲げる人にやさしいまちづくりの推進に果敢に取り組む。
この基本方針の下、第3次斑鳩町総合計画の実現に向け、限りある財源を重点的、効率的に配分して、引き続き、次の視点から予算を編成しました。

1. 歴史と文化を大切にし、貴重な遺産の次世代への伝承
2. 人にやさしい道づくり・駅づくり
3. 人にやさしく、ともに生きる福祉のまちづくり
4. 新しい制度への対応
5. 持続発展が可能な循環型社会の形成

2 まちづくりの基本施策

まちづくりの基本施策は、第3次斑鳩町総合計画にかかげる6つの柱とする。

1. とともに生き心ふれあうまちづくり
2. すこやかにともに生きる福祉のまちづくり
3. 文化の香り高く心豊かなまちづくり
4. 潤いのある魅力的なまちづくり
5. 安全で快適なまちづくり
6. にぎわいのあるまちづくり
7. 新たな地方自治への対応

3 財政規模

平成17年度一般会計の予算規模は、前年度と比べ6.6%減の86億3,000万円となっています。そのうち、一般歳出は、72億1,062万円の前年度と比べ0.5%の増となり、経常経費では3.4%の減となっています。

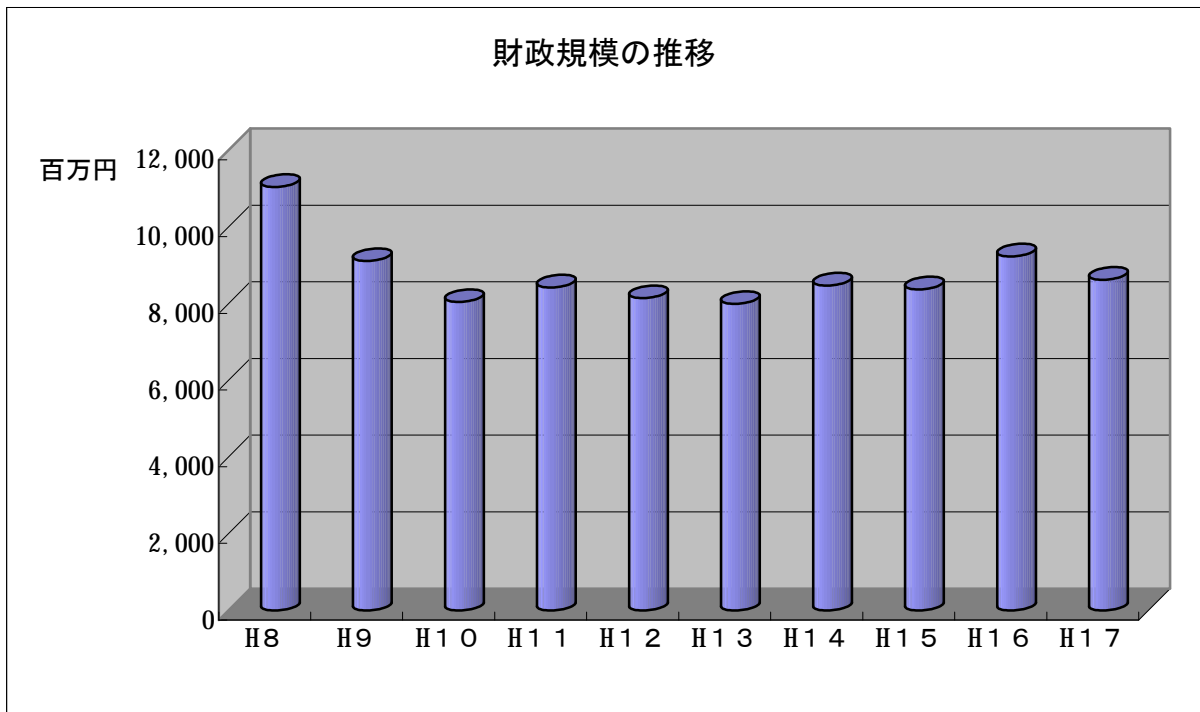
また、平成16年度に実施した減税補てん債（6億2,190万円）の借換えを除く実質的な予算での比較では、前年度と比べ、1,190万円、0.1%の増となっています。

(単位：千円，%)

区 分	平成17年度 A	平成16年度 B	増減額 (A-B) C	増減率 (C/B)*100	平成16年度現計予算額との比較		
					現計予算額	増減額	増減率
一般会計	8,630,000	9,240,000	△ 610,000	△ 6.6	9,402,673	△ 772,673	△ 8.2
うち一般歳出	7,210,617	7,174,825	35,792	0.5	7,246,070	△ 35,453	△ 0.5
経常経費	5,472,627	5,667,735	△ 195,108	△ 3.4	5,692,033	△ 219,406	△ 3.9
投資的経費	1,737,990	1,507,090	230,900	15.3	1,554,037	183,953	11.8
一般会計 (減税補てん債借換えを除く)	8,630,000	8,618,100	11,900	0.1	8,780,773	△ 150,773	△ 1.7
特別会計	7,486,465	6,648,060	838,405	12.6	7,249,330	237,135	3.3
国民健康保険事業	2,563,000	2,181,800	381,200	17.5	2,448,879	114,121	4.7
老人保健	1,967,140	1,906,460	60,680	3.2	2,129,381	△ 162,241	△ 7.6
大字龍田財産区	4,325	4,500	△ 175	△ 3.9	4,500	△ 175	△ 3.9
公共下水道事業	1,728,000	1,405,900	322,100	22.9	1,406,781	321,219	22.8
介護保険事業	1,224,000	1,149,400	74,600	6.5	1,259,789	△ 35,789	△ 2.8
一般・特別会計合計	16,116,465	15,888,060	228,405	1.4	16,652,003	△ 535,538	△ 3.2
企業会計	1,272,370	1,200,040	72,330	6.0	1,248,305	24,065	1.9
水道事業会計	1,272,370	1,200,040	72,330	6.0	1,248,305	24,065	1.9
収益的支出	814,522	869,246	△ 54,724	△ 6.3	872,561	△ 58,039	△ 6.7
資本的支出	457,848	330,794	127,054	38.4	375,744	82,104	21.9
総 合 計	17,388,835	17,088,100	300,735	1.8	17,900,308	△ 511,473	△ 2.9

(注) 一般歳出とは、一般会計のうち、公債費、財政調整基金等への積立金を除いた額です。

平成16年度現計予算額は、12月補正後の予算額となっています。



財政規模等の推移（一般会計当初予算）

（単位：百万円，％）

区 分	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
財政規模	11,050	9,120	8,050	8,430	8,150	8,000	8,480	8,380	9,240	8,630
伸び率	23.9	△ 17.5	△ 11.7	4.7	△ 3.3	△ 1.8	6.0	△ 1.2	10.3	△ 6.6
一般歳出	10,028	7,894	6,746	6,885	6,499	6,376	6,869	6,851	7,175	7,211
伸び率	26.2	△ 21.3	△ 14.5	2.1	△ 5.6	△ 1.9	7.7	△ 0.3	4.7	0.5

国及び地方財政計画の財政規模等の推移

（単位：億円，％）

区 分	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	
国の 一般会計	財政規模	751,049	773,900	776,692	818,601	849,871	826,524	812,300	817,891	821,109	821,829
	伸び率	5.8	3.0	0.4	5.4	3.8	△ 2.7	△ 1.7	0.7	0.4	0.1
	一般歳出	431,409	438,067	445,362	468,878	480,914	486,589	475,472	475,922	476,320	472,829
	伸び率	2.4	1.5	△ 1.3	5.3	2.6	1.2	△ 2.3	0.1	0.1	△ 0.7
地方 財政計画	財政規模	852,848	870,596	870,964	885,316	889,300	893,071	875,666	862,107	846,669	837,700
	伸び率	3.4	2.1	0.0	1.6	0.5	0.4	△ 1.9	△ 1.5	△ 1.8	△ 1.1
	一般歳出	738,253	745,192	733,625	746,888	739,854	735,548	711,319	697,201	681,049	673,200
	伸び率	2.3	0.9	△ 1.6	1.8	0.9	△ 0.6	△ 3.3	△ 2.0	△ 2.3	△ 1.2

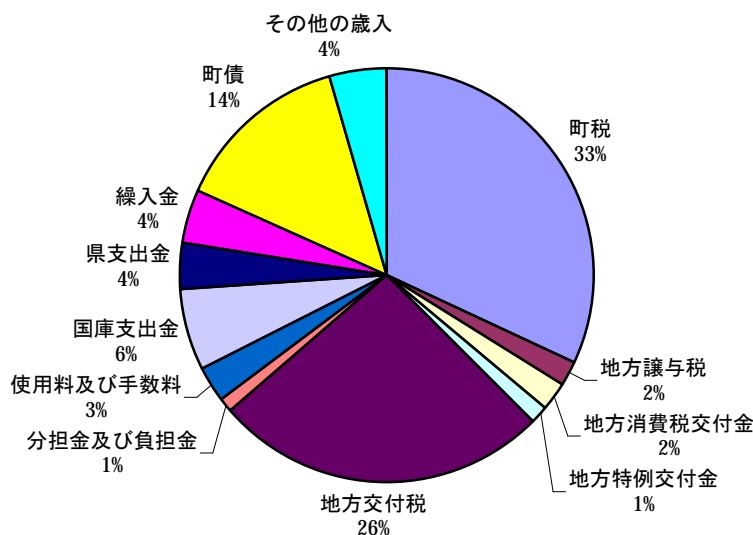
4 歳入の概要（一般会計）

町税は、27億4,760万で、前年度と比べ、1,070万円、0.4%の増となっています。
 地方譲与税は、「三位一体の改革」の税源移譲により、前年度と比べ、5,270万円、42.1%の増となったものの、地方交付税は、事業費補正分等の減少により、前年度の現計予算額に比べ、6,290万4千円、2.7%の減となっています。
 また、町債については、JR法隆寺駅周辺整備事業、中宮寺跡史跡用地購入事業等の資金確保を図りながらも、将来の公債費負担の軽減を図るため、その発行の抑制に努めた結果、平成16年度に実施した減税補てん債（6億2,190万円）の借換えを除く比較で、2億2,510万円、15.9%の減となっています。

（単位：千円，％）

区 分	平成17年度 予算額 A	平成16年度 予算額 B	増 減 額 A-B C	増 減 率 (C/B)*100	平成16年度現計予算額との比較		
					現計予算額	増減額	増減率
町税	2,747,600	2,736,900	10,700	0.4	2,774,519	△ 26,919	△ 1.0
地方譲与税	178,000	125,300	52,700	42.1	125,300	52,700	42.1
地方消費税交付金	190,000	168,500	21,500	12.8	168,500	21,500	12.8
地方特例交付金	113,800	121,600	△ 7,800	△ 6.4	111,298	2,502	2.2
地方交付税	2,258,000	2,239,000	19,000	0.8	2,320,904	△ 62,904	△ 2.7
分担金及び負担金	107,154	112,187	△ 5,033	△ 4.5	112,187	△ 5,033	△ 4.5
使用料及び手数料	233,170	236,160	△ 2,990	△ 1.3	236,160	△ 2,990	△ 1.3
国庫支出金	557,812	359,390	198,422	55.2	378,392	179,420	47.4
県支出金	303,871	324,507	△ 20,636	△ 6.4	329,352	△ 25,481	△ 7.7
繰入金	364,106	387,873	△ 23,767	△ 6.1	387,873	△ 23,767	△ 6.1
町債	1,188,400	2,035,400	△ 847,000	△ 41.6	1,825,200	△ 636,800	△ 34.9
その他の歳入	388,087	393,183	△ 5,096	△ 1.3	632,988	△ 244,901	△ 38.7
合 計	8,630,000	9,240,000	△ 610,000	△ 6.6	9,402,673	△ 772,673	△ 8.2

歳入の構成割合



5 歳出の概要（一般会計）

（1）目的別内訳

教育費と土木費が前年度に比べ増額となっています。これは、教育費で、中宮寺跡史跡用地購入事業などにかかる事業費の増、また土木費では、JR法隆寺駅周辺整備事業にかかる事業費の増によるものです。

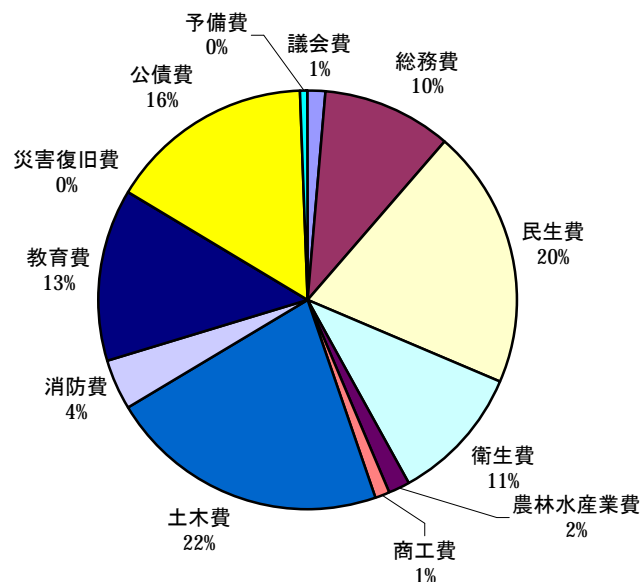
一方、衛生費は、前年度に比べ、1億2,778万1千円、12.2%の減となっています。これは、衛生処理場にかかる修繕費が事業完了により減額となったためです。

公債費については、減税補てん債の借換え（6億2,190万円）が完了したことから、前年度に比べ、6億5,547万円、32.2%の大幅な減となっています。また減税補てん債の借換えを除く比較でも、3,357万円、2.4%の減となり、引き続き減少しています。

（単位：千円、%）

区分	平成17年度 予算額 A	平成16年度 予算額 B	増減額 A-B C	増減率 (C/B)*100	平成16年度現計予算額との比較		
					現計予算額	増減額	増減率
議会費	115,753	115,638	115	0.1	115,625	128	0.1
総務費	878,209	930,059	△ 51,850	△ 5.6	1,043,090	△ 164,881	△ 15.8
民生費	1,707,095	1,659,815	47,280	2.8	1,704,248	2,847	0.2
衛生費	923,323	1,051,104	△ 127,781	△ 12.2	1,048,125	△ 124,802	△ 11.9
農林水産業費	136,442	159,163	△ 22,721	△ 14.3	167,280	△ 30,838	△ 18.4
商工費	105,769	143,796	△ 38,027	△ 26.4	146,253	△ 40,484	△ 27.7
土木費	1,866,189	1,782,950	83,239	4.7	1,765,780	100,409	5.7
消防費	327,590	320,846	6,744	2.1	321,703	5,887	1.8
教育費	1,147,691	1,012,020	135,671	13.4	1,034,031	113,660	11.0
災害復旧費	2,806	6	2,800	46,666.7	3,556	△ 750	△ 21.1
公債費	1,379,133	2,034,603	△ 655,470	△ 32.2	2,035,723	△ 656,590	△ 32.3
予備費	40,000	30,000	10,000	33.3	17,259	22,741	131.8
合計	8,630,000	9,240,000	△ 610,000	△ 6.6	9,402,673	△ 772,673	△ 8.2

歳出の構成割合（目的別）



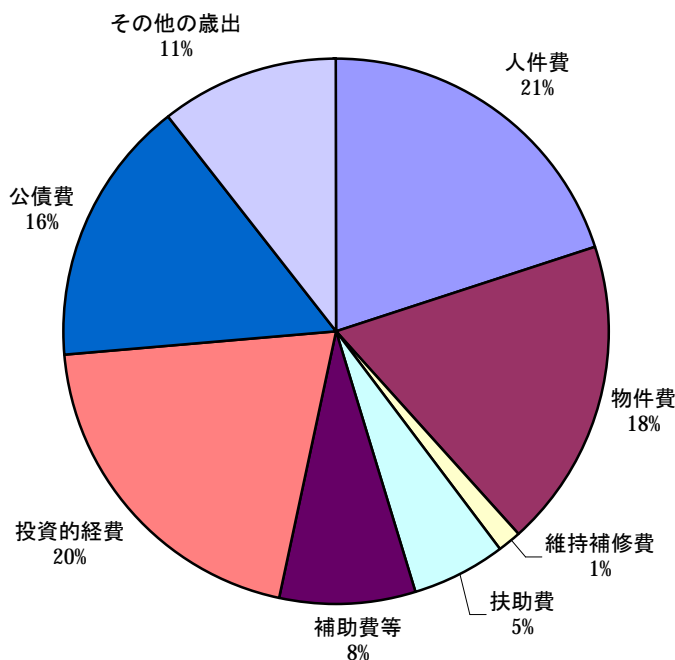
(2) 性質別内訳

人件費は、職員の退職、町三役・教育長の給料の抑制及び部課長級の管理職手当の抑制などにより、前年度と比べ、3,633万9千円、2.1%の減となっています。
 また、物件費では、委託料を中心とした施設管理費等の縮減、県内出張にともなう日当の廃止などにより、前年度と比べ、1,763万4千円、1.1%の減となるとともに、維持補修費にあつては、衛生処理場の大規模修繕の完了により、前年度と比べ、9,328万円、42.2%の大幅な減となっています。
 一方、投資的経費は、JR法隆寺駅周辺整備事業費、中宮寺跡史跡用地購入事業費の増額などにより、前年度と比べ、2億3,090万円、15.3%の増となっています。

(単位：千円，%)

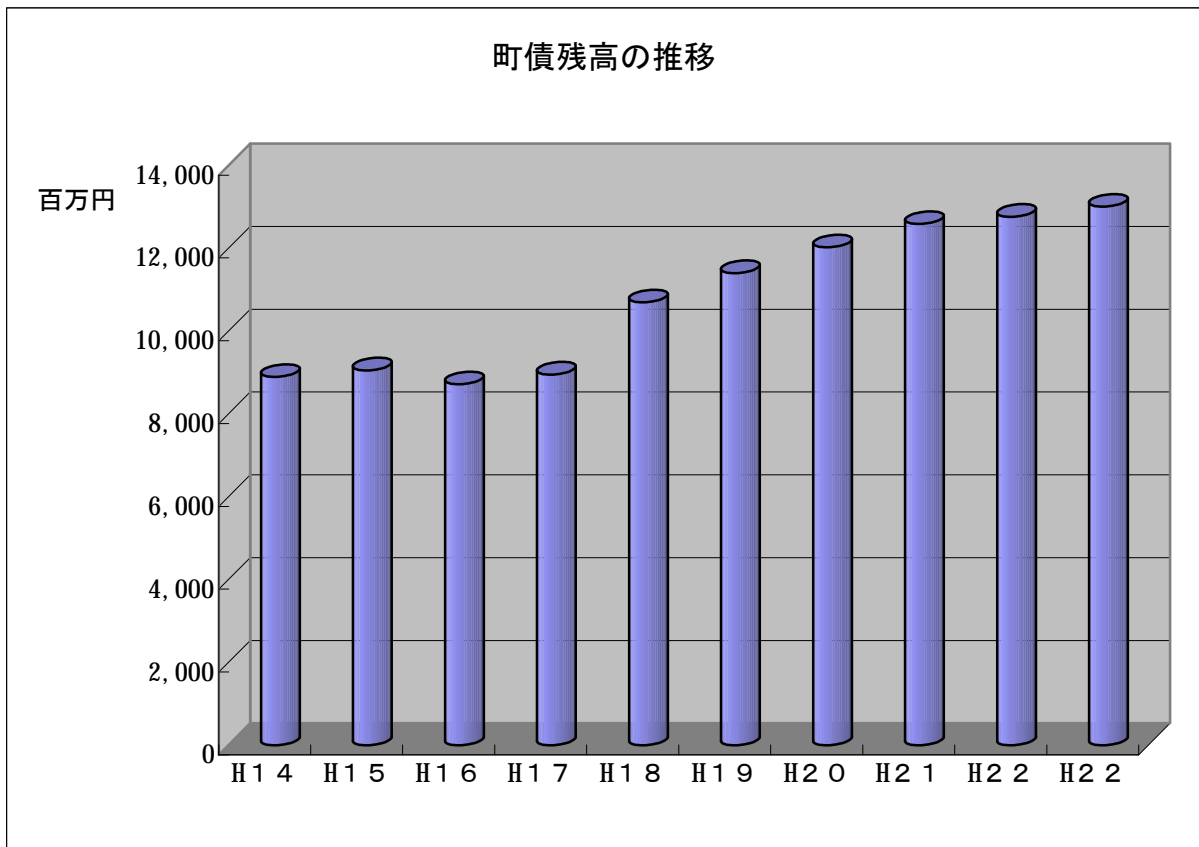
区分	平成17年度 予算額 A	平成16年度 予算額 B	増減額 A-B C	増減率 (C/B)*100	平成16年度現計予算額との比較		
					現計予算額	増減額	増減率
人件費	1,732,930	1,769,269	△ 36,339	△ 2.1	1,754,548	△ 21,618	△ 1.2
物件費	1,572,661	1,590,295	△ 17,634	△ 1.1	1,604,623	△ 31,962	△ 2.0
維持補修費	127,531	220,811	△ 93,280	△ 42.2	220,811	△ 93,280	△ 42.2
扶助費	467,517	478,781	△ 11,264	△ 2.4	476,241	△ 8,724	△ 1.8
補助費等	703,022	757,399	△ 54,377	△ 7.2	759,263	△ 56,241	△ 7.4
投資的経費	1,737,990	1,507,090	230,900	15.3	1,554,037	183,953	11.8
公債費	1,376,623	2,034,603	△ 657,980	△ 32.3	2,035,723	△ 659,100	△ 32.4
その他の歳出	911,726	881,752	29,974	3.4	997,427	△ 85,701	△ 8.6
合計	8,630,000	9,240,000	△ 610,000	△ 6.6	9,402,673	△ 772,673	△ 8.2

歳出の構成割合（性質別）



6 町債残高の推移（一般会計）

町債の活用は、JR法隆寺駅周辺整備等の都市基盤整備や（仮称）総合福祉会館の建設など本町が当面する政策課題に対処していくための財源確保を図るには、やむを得ないものと考えています。しかしながら、後年度の財政負担は必ず生じることから、その活用にあたっては、後年度の財政負担を見極めて慎重に対応していきます。



町債残高の推移（一般会計）

（単位：百万円）

区 分	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H22
町債残高	8,900	9,056	8,721	8,956	10,700	11,407	12,027	12,591	12,766	13,012